

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 相生市社会福祉事業団

目 次

ページ

I	総括的事項	1
II	法人・本部事務局の取組み	1
III	各施設の取組み	7
	【養護老人ホーム愛老園】	7
	【特別養護老人ホーム椿の園】	1 1
	【保育所】(相生・平芝・矢野川)	1 4
	【障害者支援施設野の草園】	1 8

I 総括的事項

福祉を取り巻く環境も変化し続け、利用者のニーズが多様化する中、社会福祉法の趣旨である経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取り組みについて着実に遂行し、自主的・自立的な経営を目指し、効率的・効果的な経営を推進してきた。

こうした中、当事業団では、相生市から相生保育所、平芝保育所及び矢野川保育所については平成29年度から5年間、養護老人ホーム愛老園、特別養護老人ホーム椿の園及び障害者支援施設野の草園については令和元年度から5年間の指定管理を受け、市所管課と連絡調整を図りながら適切な管理運営に努めてきた。

愛老園においては、利用者が定員に満たない状況が継続する状況の中、利用者確保等の収支改善に努めたが、結果的に約1,100万円の赤字を計上せざるを得ない状況となった。また、矢野川保育所も前年度より改善傾向にはあるが、定員に満たない状況が続き、400万円の積立金の取り崩しを行っても約150万円の赤字を計上せざるを得ない状況となった。

今後も利用者確保や加算の積極的活用など収入確保を図ると共に、効率的な人員配置により、公的なサービス機関としての役割を果たしながら収支の改善に努めていく。

II 法人・本部事務局の取組み

創立30周年を迎えたことを機会に、改めてご利用者並びにご家族の皆様、地域の皆様、ボランティアの皆様、相生市をはじめ関係機関等の皆様からのご支援、ご協力に感謝し記念誌を発行した。

労働施策総合推進法の改正により、職場におけるパワーハラスメント防止のために、雇用管理上必要な措置を講じることが事業主の義務となった。今後の事業団を担う職員育成や職場定着のためにも、全職員を対象に令和元年度から3ヵ年計画で「ハラスメント防止関連研修」を計画し、1年目として管理職、新任職員を中心に実施した。

福祉施設においては、人材確保難が続いており、ハローワーク、求人誌、求人サイト、人材紹介会社などあらゆる手段を活用して募集を行い、職員の確保、職場定着に努めていく。

1. 役 員

(1) 理 事

(令和 2 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	職 名 等
理 事 長	竹 内 繁 礼	
副 理 事 長	西 崎 健 一	相生市健康福祉部長兼福祉事務所所長
業務執行理事	高 田 雅 仁	相生市社会福祉事業団事務局長
理 事	瀬 川 英 臣	社会福祉法人相生市社会福祉協議会会長
	魚 橋 哲 夫	医療法人社団魚橋会魚橋病院院長
	賀 川 篤 代	相生市立平芝保育所代表所長

(2) 監 事

監 事	花 田 齊	元相生市民生児童委員協議会会長
	山 本 道 雄	元相生市立養護老人ホーム愛老園園長

2. 評議員

(令和 2 年 3 月 31 日現在)

氏 名	職 名 等
渡 邊 慎 治	社会福祉法人後楽園認定こども園どんぐりの家園長
大 前 正 博	元相生市矢野町連合自治会会长
山 本 和 則	元相生市若狭野町連合自治会会长
開 道 眞利子	相生市立障害者支援施設野の草園保護者
岸 本 益 美	相生市民生児童委員
内 海 民 子	元相生市民生児童委員
三 浦 貴 史	相生市健康福祉部長寿福祉室室長

3. 会議等

(1) 理事会

開催回等	開催期日・出欠人員	番号	付 議 事 項	結果
令和元年度 第1回	令和元年 6月 6 日 出席 7名 欠席 1名	議案 第 1 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成30年度事業報告及び決算について	可決
		議案 第 2 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団令和元年度定時評議員会の招集 について	可決
		報告 第 1 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事長及び業務執行理事の職務 執行状況について	了承
		議案 第 3 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事選任候補者の推薦について	可決
		議案 第 4 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団監事選任候補者の推薦について	可決
第2回	令和元年 6月 24 日 出席 8名 欠席 0名	議案 第 5 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事長の選定について	選定
		議案 第 6 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団副理事長の選定について	選定
		議案 第 7 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団業務執行理事の選定について	選定
第3回	令和元年 11月 22 日 出席 8名 欠席 0名	議案 第 8 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団令和元年度社会福祉事業資金収支補正予算（第1号）について	可決
		報告 第 2 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事長及び業務執行理事の職務 執行状況について	了承
第4回 (決議の省略)	令和2年 3月 24 日 出席 8名 欠席 0名	議案 第 9 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団令和元年度社会福祉事業資金収支補正予算（第2号）について	可決
		議案 第 10 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団職員給与規則の一部を改正する 規則の制定について	可決

	議案 第 11 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団嘱託職員就業規則の一部を改正 する規則の制定について	可決
	議案 第 12 号	前期末支払資金残高の本部運営経 費への使用について	可決
	議案 第 13 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団令和 2 年度事業計画について	可決
	議案 第 14 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団令和 2 年度社会福祉事業資金収 支予算について	可決
	議案 第 15 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団職員の選任及び解任について	可決

※出欠人員には、監事を含む。

(2) 評議員会

開催回等	開催期日・出欠人員	番号	付 議 事 項	結果
令和元年度 定時	令和元年 6 月 24 日 出席 9 名 欠席 0 名	報告 第 1 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 30 年度事業報告について	了承
		議案 第 1 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 30 年度決算（計算書類及び 財産目録）について	可決
		議案 第 2 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事の選任について	可決
		議案 第 3 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事の選任について	可決
		議案 第 4 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事の選任について	可決
		議案 第 5 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事の選任について	可決
		議案 第 6 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事の選任について	可決
		議案 第 7 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事の選任について	可決
		議案 第 8 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団監事の選任について	可決

	議案 第9号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団監事の選任について	可決
--	-----------	-------------------------------	----

※出欠人員には、監事を含む。

(3) 監事の監査

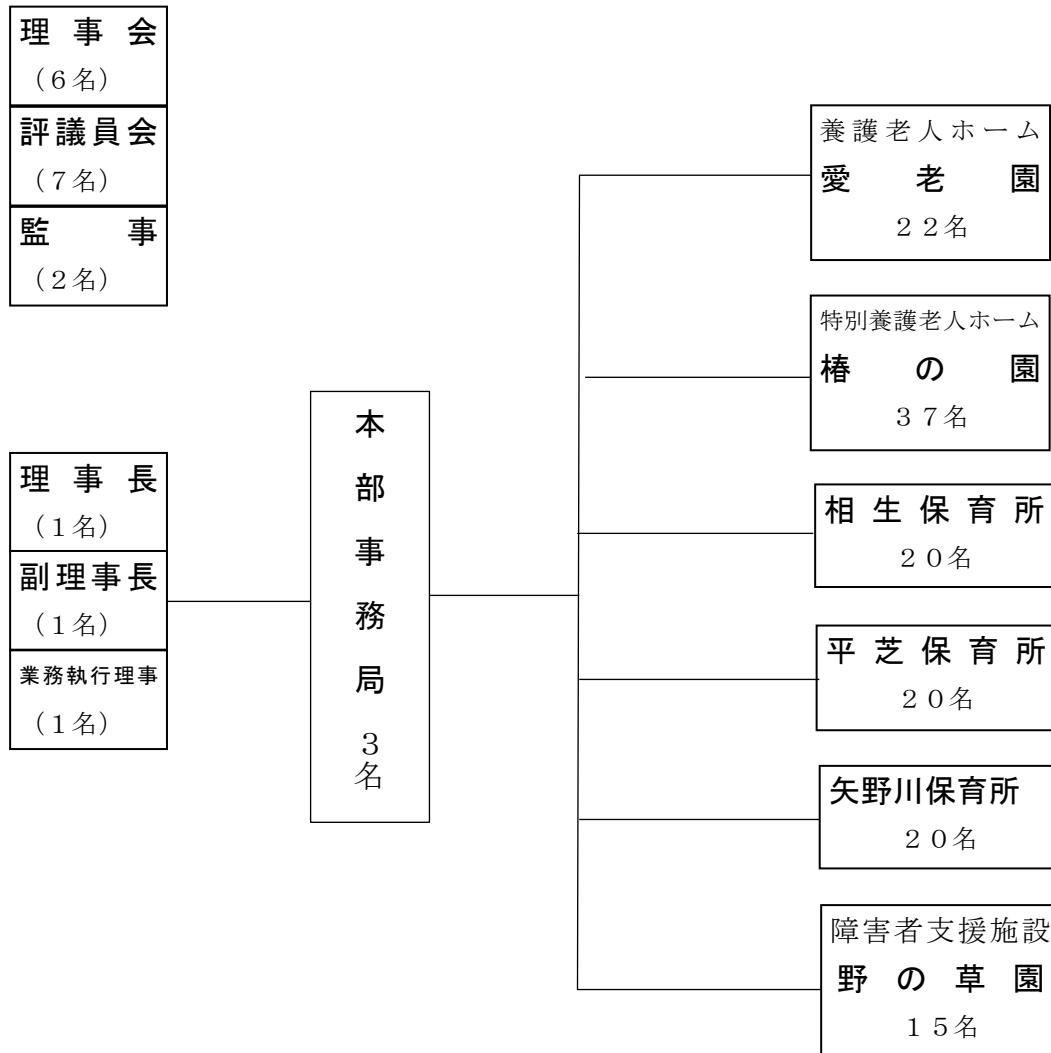
監査区分	実施年月日	監査内容
事業決算監査	令和元年5月29日	平成30年度の業務執行状況及び収支決算状況
中間監査	令和元年11月13日	令和元年度上半期の業務及び予算執行状況

4. 施設事業等の名称及び所在地

施設事業等	施設事業所名	所在地及び電話番号
主たる事務所	本部事務局	相生市矢野町真広397番地1 電話0791-29-1208
養護老人ホーム	養護老人ホーム 愛老園	相生市矢野町真広409番地 電話0791-29-0290
在宅老人短期入所事業		
特定施設入居者生活介護事業		
指定介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 椿の園	相生市矢野町真広397番地1 電話0791-29-1005
指定短期入所生活介護事業		
保育所	相生保育所	相生市相生三丁目11番5号 電話0791-22-7135
	平芝保育所	相生市那波野一丁目6番13号 電話0791-22-7137
	矢野川保育所	相生市矢野町下田508番地1 電話0791-29-0833
生活介護事業	障害者支援施設 野の草園	相生市那波野一丁目6番15号 電話0791-23-6450
就労継続支援B型事業		

社会福祉法人相生市社会福祉事業団組織図

令和2年3月31日現在



(職員数) 正規職員 39名
嘱託職員 51名
パート職員 47名
合計 137名

III 各施設の取組み

【養護老人ホーム愛老園】

位 置 相生市矢野町真広 409番地

事業の種別	第一種社会福祉事業 養護老人ホームの経営
	第二種社会福祉事業 老人短期入所事業の経営
	第二種社会福祉事業 老人居宅介護等事業の経営

事業報告

『養護老人ホーム（措置入所）・・・定員50人』

1. 概要

施設の運営は、老人福祉法の基本的理念に基づき、清流矢野川沿いの閑静な農村部の良好な環境のもとで、入所者の個別性や自主性を尊重し、入所者個々のニーズを的確に把握し、その人らしい生活が送れるよう社会復帰及び自立促進のための必要な指導・訓練並びにベッドの導入を図るなどその他の援助を行った。また、介護保険法に基づき、要支援及び要介護者には的確な介護サービスの提供による支援・介護に努めた。

設備面については、入所者の安全な日常生活のため、老朽化していたエレベーターの更新を行い、内部に防犯カメラを設置した。

入所者の看護と食生活については、日常生活における健康管理・健康保持に留意するとともに、週1回の嘱託医の回診と年2回の定期健康診断による疾病の早期発見、早期治療及び感染予防、機能回復訓練による機能低下の防止と現存機能の維持・回復に努めた。一方、食生活については、入所者の食習慣や嗜好が食事に反映されるよう個別メニューと季節感が味わえる工夫と家庭的な食事の提供に努めた。併せて、毎月「園内喫茶」を実施し、午後の団欒のひとときを過ごしていただいた。

行事やレクリエーションについては、ボランティアの受け入れと入所者中心の行事を開催し、地域、家族及び職員が、共感できるひとときを過ごし交流を深め、一方、クラブ活動として、レクリエーション活動や文化的活動を実施し、また、日帰り旅行や毎月のショッピング外出、月1回の映画上映会の実施など生活意欲増進に努めた。

職員の資質向上については、必要な知識や技術の習得のため各種研究・講習会への積極的参加を促すとともに、職場内研修等資質向上に努めた。

防災対策については、火災を想定した、避難誘導、通報、消火訓練のほか、土砂災害を想定した避難誘導訓練を実施し、入所者の安全確保に努めた。

また、防犯対策として、不審者の侵入に対応する防犯訓練を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策としては、交流事業や家族等の面会を中心とし、職員は不要不急の外出を控えるとともに出勤前の検温、マスクの着用に努めた。

2. 入所状況（定員 50人）

延入所者数 15,736人（平成30年度 17,440人）

1日平均 43.0人（平成30年度 47.8人）

（1）入退所・入院の状況（平成31年4月～令和2年3月）（単位：人）

月	初日 在籍数	入所数	退所数	退所内訳				末日 在籍数	延人数	入院日数 (日)
				死亡	復帰	入院	措置替			
4	47		2	1				45	1,376	221
5	45		2	1		1		43	1,380	130
6	44	1						44	1,320	108
7	44	1	1	1				44	1,337	89
8	44		1					43	1,353	76
9	43		1	1				42	1,264	149
10	43	1						43	1,333	194
11	43	1						44	1,294	238
12	44							44	1,364	220
1	44		3			3		42	1,346	210
2	41		2	2				39	1,146	77
3	39	1	2	1		1		39	1,223	79
計		5	14	7		5	2		15,736	1,791

※1日付入所者は初日在籍数に含む。

※末日付退職者は末日在籍数に含む。

(2) 措置機関別の状況（年度末現在）

措置機関別 入所者数	相生市	たつの市	赤穂市
平成31年3月31日現在 入 所 者 数	43人	2人	1人
令和2年3月31日現在 入 所 者 数	34人	2人	2人

神戸市 中央区	計
1人	47人
1人	39人

(3) 入所者の年齢区分別状況（年度末現在）

年齢区分 入所者数	60歳～	70歳～	80歳～	90歳～	計	最高	最低
平成31年3月31日現在 入 所 者 数	4人	24人	15人	4人	47人	93歳	68歳
令和2年3月31日現在 入 所 者 数	2人	20人	14人	3人	39人	98歳	69歳

(4) 介護保険介護認定状況（年度末現在）

認定入所者数 19人（平成30年度 29人）

介護度 年度別	要支援	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	小計	自立	総計
平成31年 3月31日現在 人数・構成比率	4人	13人	3人	3人	5人	1人	29人	18人	47人
	13.8%	44.8%	10.4%	10.4%	17.2%	3.4%	100%		
令和2年 3月31日現在 人数・構成比率	3人	9人	3人	2人	2人	0人	19人	20人	39人
	15.8%	47.4%	15.8%	10.5%	10.5%	0.0%	100%		

『老人短期入所事業（ショートステイ）・・・空床利用』

1. 概 要

65歳以上で介護する家族等が病気等の理由により、自宅で介護を受けることが一時的に困難な方を短期間養護し、生活習慣等の指導を行うと共に体調の調整を図ることを目的として支援を行った。

2. 利用状況

月 年度	延利用者数												(単位：人)
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
30年度	0	2	6	0	0	21	0	0	0	0	0	0	29
元年度	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	9

『特定施設入居者生活介護事業』

1. 概 要

入所者で身体上または精神上の障害があるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、入浴、排せつ、食事等の介護、洗濯、掃除等の個別のニーズに基づいた介護サービスを提供した。

2. 利用状況

月 年度	月別利用者延人数												(単位：人)
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
30年度	27	27	27	30	29	29	27	31	29	27	27	24	334
元年度	25	25	25	25	25	22	18	18	19	19	18	19	258

【特別養護老人ホーム椿の園】

位 置 相生市矢野町真広397番地1

事業の種別	第一種社会福祉事業	特別養護老人ホームの経営
	第二種社会福祉事業	老人短期入所事業の経営

事業報告

『特別養護老人ホーム（長期入所）・・・定員50人』

1. 概要

当施設では、老人福祉法及び介護保険法の理念に基づき、利用者が尊厳を持ち、いきいきと、その人らしい生活が送れるよう利用者個々のニーズを取り入れたサービス計画に沿い、介護・看護・栄養調理の各部門が協働して質の高いサービスの提供と自立支援に努めた。

利用者の高齢化・重度化が進む中、日々きめ細かな体調管理を行い、医療との密接な連携、定期的な健康診断や嘱託医による回診などにより利用者の健康管理に努めるとともに、感染症予防対策を確実に行い、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症防止に努め、感染症対策委員会においては、新型コロナウイルスの対応策として、当面の間、家族・外来者の面会中止を決定した。また、機能回復訓練を定期的に実施し、有存機能の維持・向上を図った。

食事・栄養面では、栄養ケア計画に基づき個々の利用者的心身の状況に合った食事環境を整え、嗜好や季節感を取り入れた安全でおいしい食事の提供に努めた。

また、行事・レクリエーションについては、家族・ボランティア・地域の人々と積極的に交流を図り、ふれあいを通して楽しめる機会を提供し、利用者の意向に応じてクラブ活動や外出の支援を行い余暇の充実を図った。また、園内喫茶とおやつは利用者のくつろぎのひとときとなっている。

職員の資質向上については、計画的な職場内研修の実施、職場外研修への積極的な参加及び年間実行計画に基づいた自主的な委員会活動を通してサービスの質を高め、専門性の向上に努めるとともに、新たなビジョンの唱和により目標の共有と意識化に努めた。

安全管理対策については、火災を想定した防災訓練や、愛老園と合同での土砂災害を想定した避難訓練、不審者侵入に備えた防犯訓練、さらに利用者の急変時に備えAEDを使用した救命救急講習を行い、防災や安全確保への意識向上に努めた。

また、広報誌の発行・配布などにより施設と地域が共存し、理解と協力を深められるよう努めた。

2. 利用状況（定員 50人）

延利用者数 18,180人（平成30年度 17,870人）

1日平均 49.7人（平成30年度 49.0人）

(1) 入退所・入院の状況（平成31年4月～令和2年3月）（単位：人）

月	初日 在籍数	入所数	退所数	退所内訳				末日 在籍数	延人数	入院日数 (日)
				死亡	復帰	入院	施設替			
4	50	2	2	2				50	1,479	141
5	50							50	1,550	175
6	50							50	1,500	164
7	50	2	2	1		1		50	1,524	125
8	50							50	1,550	82
9	50							50	1,500	114
10	50	1	2	2				49	1,524	100
11	50	2	1			1		50	1,483	107
12	50		1	1				49	1,534	157
1	49	2	1			1		50	1,536	155
2	50							50	1,450	98
3	50							50	1,550	130
計		9	9	6		3			18,180	1,548

※初日付入所者及び末日付退所者は末日在籍数に含む。

(2) 地域別利用状況（年度末現在）

地域 利用者数	相生市	赤穂市	たつの市	上郡町	佐用町	岡山市	計
平成31年3月31日現在 利 用 者 数	34人	2人	4人	9人	0人	1人	50人
令和2年3月31日現在 利 用 者 数	35人	2人	3人	8人	1人	1人	50人

(3) 利用者年齢区分別状況（年度末現在）

年齢区分 利用者数	65歳～	80歳～	90歳～	100歳～	計	最高	最低
平成31年3月31日現在 利 用 者 数	6人	24人	19人	1人	50人	100歳	68歳
令和2年3月31日現在 利 用 者 数	6人	22人	19人	3人	50人	101歳	69歳

(4) 介護保険介護認定状況（年度末現在）

年度別 介護度	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計	平均 介護度
平成 31 年 3 月 31 日現在 人 数 ・ 構 成 比 率	1 人	1 人	1 5 人	1 6 人	1 7 人	5 0 人	3. 94
	2. 0%	2. 0%	30. 0%	32. 0%	34. 0%	100. 0%	
令和 2 年 3 月 31 日現在 人 数 ・ 構 成 比 率	1 人	1 人	1 3 人	1 7 人	1 8 人	5 0 人	4. 00
	2. 0%	2. 0%	26. 0%	34. 0%	36. 0%	100. 0%	

『老人短期入所事業（ショートステイ）・・・定員 8 人』

1. 概 要

寝たきりや認知症など、介護を必要とする高齢者を抱える家族が、一時的に家庭での介護が困難な場合に、短期入所サービスを利用されるもので日常生活上の援助などを個別のニーズに基づいた介護サービス計画により提供した。

2. 利用状況

延利用者数 2, 255 人(平成 30 年度 2, 007 人)

1 日平均 6. 2 人(平成 30 年度 5. 5 人)

月別利用者延人数 (単位：人)

月 年 度 /	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
30 年度	183	167	173	200	197	158	150	139	122	153	157	208	2, 007
元年度	170	184	183	193	157	198	165	161	197	209	207	231	2, 255

【保育所】

位 置	相生市立相生保育所 相生市立平芝保育所 相生市立矢野川保育所	相生市相生三丁目 11番 5号 相生市那波野一丁目 6番 13号 相生市矢野町下田 508番地 1
-----	--------------------------------------	---

事業の種別 第二種社会福祉事業 保育所の経営

事業報告

1. 概要

(1) 相生保育所

一人ひとりを大切にする保育を目指し、家庭や地域の関係機関の協力を得て、地域の自然や施設等の資源を積極的に活用し、豊かな生活体験をはじめ、保育内容の充実を図った。

防災対策としては、平成26年度より相生保育所が南海トラフ地震の浸水想定区域に指定されたことから、令和元年度は全児童を対象に、兵庫県南海トラフ地震津波一斉避難訓練を、相生小学校・相生幼稚園・相生保育所合同で行った。相生小学校の運動場まで行き、高い位置にある幼稚園まで避難した。乳幼児を避難させるにあたり職員も晒を使ったおんぶの仕方を身に着けるなど、子どもたちを安全に避難させる技術や知識を学び実践していった。

又、職員が自らの専門性を高めるために各自目標を決め、日頃から職場内の研修や外部研修、自己研鑽により、全職員が専門性を高められるよう努めた。

(2) 平芝保育所

『子どもたち一人ひとりの生きる力を育みます』の理念のもと、子どもたちのより良い未来のために、保育所が安心できる場所となるよう、保護者から信頼され地域の方から愛される保育所を目指した。

令和元年度は、保育指針改定により職員全員で全体的な計画（旧保育課程）の見直しを行い、新たな保育理念・目標・方針のもと、乳幼児期に大切な「生きていくための力」の基礎や各年齢に即した発達が心も体も順調に促進される保育を心がけた。

保育活動の中でも食育に関わる「クッキング」は子どもたち自身が楽しく参加でき食への意識を高めるために必要な活動であり、今年度も各年齢に即したクッキングに取り組み、食事を楽しむことのできる保育を目指した。

また安全管理対策として、毎月の避難訓練と年2回の消防訓練、不審者を想定した防犯訓練、夏場の水の事故を想定してAED救急救命講習を行い、危険に対する意識の向上に努めた。2月からの新型コロナウイルスの影響により行事

の変更等も生じたが、子どもたちや職員の健康に重きを置き、日々安心して過ごせるように衛生管理を徹底した。

(3) 矢野川保育所

保育理念・保育方針に基づき、充実した環境の中で豊かな心を養い、情緒の安定や体力の増進、月齢に応じた規則正しい生活を身につけることができるよう努めた。

矢中校区連携推進委員会の取り組みとして、「ともに輝け矢野川っ子」のスローガンのもと、幼少期の人間関係を構築する力の育成や豊かな心と学力を育む読書活動の推進を家庭と保育所が共に充実させるよう努め、平成30年度の家庭生活アンケートの結果分析から、質の高い睡眠をとることも課題となり、家庭や保育所の睡眠環境を整え、【早寝早起きやっぱり「読書」です！】を主として、子どもたちの健やかな成長を目指した。

また、令和元年度は保育所周辺の交通マナーについて、保護者の方に意識してもらえるよう例年配付の「交通マナーについて」の文書配布に加え、参観日に地図を用いて注意箇所の周知を行ったり、徐行運転が必要な場所に職員が立ち安全な通行を促し、地域の方々が安全で安心して生活ができるよう努めた。

2. 利用状況

(1) 月別入所状況

(単位：人)

	相生保育所 (定員70人)		平芝保育所 (定員70人)		矢野川保育所 (定員55人)		合 計 (定員195人)	
月	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度
4	65	69	67	69	45	43	177	181
5	65	69	68	70	45	43	178	182
6	68	69	68	71	45	43	181	183
7	68	68	71	72	45	43	184	183
8	65	69	71	72	47	43	183	184
9	68	69	70	72	47	44	185	185
10	69	69	70	72	47	44	186	185
11	71	69	71	72	46	44	188	185
12	71	70	71	72	46	44	188	186
1	71	70	71	72	46	45	188	187
2	70	70	71	72	47	45	188	187
3	70	70	72	72	47	45	189	187
合計	821	831	841	858	553	526	2,215	2,215
平均	68.4	69.3	70.1	71.5	46.1	43.8	184.6	184.6

(2) 年齢別入所状況

(令和2年3月31日現在)

区分	在籍数	内訳			
		0才児	1・2才児	3才児	4才以上児
相生保育所	70人	6人	24人	15人	25人
平芝保育所	72人	6人	24人	13人	29人
矢野川保育所	45人	3人	15人	7人	20人
計	187人	15人	63人	35人	74人

(3) 特別保育事業

①延長保育事業

(単位:人)

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相生	30年度	56	99	71	72	57	69	93	97	94	69	58	79	914	76.2
	元年度	62	39	32	60	30	37	32	44	28	24	27	22	437	36.4
平芝	30年度	80	117	103	93	85	66	79	123	141	65	91	96	1,139	94.9
	元年度	114	66	74	107	62	84	110	97	103	58	97	85	1,057	88.1
矢野川	30年度	77	22	25	21	15	16	88	32	39	42	23	31	431	35.9
	元年度	1	31	0	0	0	12	2	1	10	2	3	0	62	5.2
合計	30年度	213	238	199	186	157	151	260	252	274	176	172	206	2,484	207.0
	元年度	177	136	106	167	92	133	144	142	141	84	127	107	1,556	129.7

②一時預かり事業

(単位:人)

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相生	30年度	10	15	14	12	9	5	11	20	27	26	23	16	188	15.7
	元年度	2	4	5	10	10	8	0	2	0	0	0	0	41	3.4
平芝	30年度	10	3	7	7	15	7	10	6	7	4	5	12	93	7.8
	元年度	14	4	8	14	17	14	13	13	7	8	1	0	113	9.4
矢野川	30年度	0	0	8	12	2	0	0	0	11	27	2	2	64	5.3
	元年度	8	6	0	9	10	0	0	0	0	0	0	0	33	2.8
合計	30年度	20	18	29	31	26	12	21	26	45	57	30	30	345	28.8
	元年度	24	14	13	33	37	22	13	15	7	8	1	0	187	15.6

③障害児保育事業

(単位:人)

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相生	30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	元年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
平芝	30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	元年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
矢野川	30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	元年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	元年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

④休日保育事業

(単位:人)

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相生	30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	元年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	元年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

【障害者支援施設野の草園】

位 置 相生市那波野一丁目 6 番 1 5 号

事業の種別 第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業の経営

事業報告

1. 概要

(1) 利用者サービスの充実

昨年度より取り入れた音楽療法士を講師とした音楽活動、専門インストラクターを講師としたリズム体操が好評のため特に音楽活動は月に2回に回数を増やし、また「ハートフルフェアー作品展」や「あいおい作品展」への作品出展等創作活動の充実を図り自己表現の機会の提供に努めた。

また、5月の天皇即位に伴う祝日については開所日とし、利用者の生活リズムの維持に努めた。

(2) 家庭、関係機関との連携

家庭に対して定期的に説明会を開催すると共に適時連絡帳や電話による情報交換を緊密にし、信頼関係の構築に努めた。

相談支援事業所等関係機関とは緊密に情報交換等を行い、利用者の生活全般について切れ目のない支援体制づくりに努めた。

(3) 施設の社会化

地元地域で開催される「なばのふれ愛まつり」に準備段階より積極的に協力すると共に指定ゴミ袋取扱所として地域に開かれた園づくりに努めた。

(4) 災害予防対策とリスク管理

年2回の消防避難訓練、地域の警報等の発令の際の利用者様の安全確保、ヒヤリハット等を活用した事故発生防止対策等安心してご利用頂けるよう全職員で取り組んだ。

また、兵庫県・播磨広域防災訓練（西播磨地域福祉避難所設置・運営研修）に参加し、情報収集に努めた。

(5) 職員の資質の向上

各種研修会に積極的に受講し専門知識や技術の取得と共に社会的常識とモラルを持った職員の育成に努めた。

2. 利用者の状況

(1) 生活介護事業 (定員 19 人)

(令和 2 年 3 月 31 日現在)

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	合 計
男 性				1 人	5 人	2 人	8 人
女 性		1 人	1 人	2 人	1 人	3 人	8 人
合 計		1 人	1 人	3 人	6 人	5 人	16 人

(2) 就労継続支援 B 型事業 (定員 17 人)

(令和 2 年 3 月 31 日現在)

男 性	7 人
女 性	8 人
合 計	15 人

(3) 年齢別利用状況

(令和 2 年 3 月 31 日現在)

性別 \ 年齢	20 歳 未満	20~ 39 歳	40~ 59 歳	60~ 64 歳	65 歳 以上	計	平均年齢
男 性		7 人	7 人	1 人		15 人	42 歳 5 ヶ月
女 性	1 人	6 人	8 人	1 人		16 人	41 歳 5 ヶ月
合 計	1 人	13 人	15 人	2 人		31 人	42 歳 0 ヶ月

(4) 利用期間状況

(令和 2 年 3 月 31 日現在)

性別 \ 期間	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上	計	平均利用期間
男 性		2 人		2 人	11 人	15 人	16 年 3 ヶ月
女 性	1 人	2 人	1 人	3 人	9 人	16 人	14 年 8 ヶ月
合 計	1 人	4 人	1 人	5 人	20 人	31 人	15 年 7 ヶ月

(5) 障害別状況

(令和2年3月31日現在)

性別 区分	知的障害			身体障害				精神障害
	療A (重度)	療B1 (中度)	療B2 (軽度)	1種 1級	1種 2級	2種 3級	2種 5級	2級
男 性	8人	5人	2人	1人	1人		2人	
女 性	7人	8人	1人	1人		1人		1人
合 計	15人	13人	3人	2人	1人	1人	2人	1人

※複数の障害がある場合には、障害種別ごとに重複して掲載しています。